

三七五四番

過所なしに 関飛び越ゆる ほととぎす 多我
子尔毛 止まず通はむ

三七五五番

愛しと 我が思ふ妹を 山川を 中に隔りて 安
けくもなし

三七五六番

向かひ居て 一日も落ちず 見しかども 厭はぬ
妹を 月渡るまで

三七五七番

我が身こそ 関山越えて 二二にあらめ 心は
妹に 寄りにしものを